

講義名	社会学基礎(2年生以上)			授業形態	
担当教員	正井 佐知	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

社会学は、世の中に起こるあらゆる現象について、科学的に調べうる学問である。科学的というのは、いつ誰が調べても同じ結果となるパターンを見つけ、そこから原因を説明し、結果を予測する、ということの意味する。社会学は、社会で生じている現象に注目して、その原因や問題解決の方法を探る。この講義では、現代社会を解き明かすために必要な道具（社会学理論の基礎）を学ぶこと、実際に道具を使って社会を読み解くことを目的とする。

到達目標

- 社会学の基礎的な考え方を理解できる
- 社会学の視点で社会を眺める基礎的な構えが身に付く
- 現実社会のさまざまなテーマに取組み、社会の仕組みや働きを学びながら、より良い社会のあり方について考えることができるようになる

提出課題

毎回講義を受講した後、LMS（学習管理システム）等でワークシートやコメント等を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

自らの課題でのコメント・質問に対し、応答する（LMS（学習管理システム）等で応答することもある）。

評価の基準

- 講義内のワークやコメント等提出、グループディスカッション（40点）
- 定期試験（60点）

履修にあたっての注意・助言他

本科目は、再履修専用のクラスである。間違ったクラスで受講すると成績評価を受けられない可能性があるため注意すること。

教科書

『大学生のための社会学入門 日本学術会議参照基準対応』	藤原清夫・栗田真樹編	晃洋書房	2,200	9784771027176
-----------------------------	------------	------	-------	---------------

参考図書

その他

教科書を使用するので、必ず準備すること。
下段にある「双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述」をよく読んでおくこと。

授業計画

- 第1回 イントロダクション：社会学とは何か
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第2回 生活空間としての地域社会：都市化と過疎化
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第3回 生活空間としての地域社会：コミュニティの再生と地域づくり
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第4回 グローバル社会とエスニシティ
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第5回 変容する家族のかたち：戦後家族とその後
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第6回 変容する家族のかたち：多様化する人生の歩み
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第7回 変容する家族のかたち：少子高齢化社会のケア問題
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第8回 中間まとめ
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第9回 「現実を生きる」ための社会学：現代社会の特徴
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第10回 「現実を生きる」ための社会学：労働環境の変化、消費構造の変化
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第11回 「現実を生きる」ための社会学：近年の変化
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第12回 「格差」の社会学
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第13回 日本で進展する環境・災害社会学：災害とは何か
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第14回 日本で進展する環境・災害社会学：環境社会学・災害社会学の邂逅
予習内容：授業のねらいを踏まえるために、シラバス・教科書等を用いて、関心のある項目をノートにまとめる（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、ミニレポート課題に取り組み（120分）
- 第15回 まとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理など、現実社会の様々なテーマに取り組み、よりよい人間社会を創造することができる能力を身につける。社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

LMS（学習管理システム）を利用するので、大学のメールアドレスをあらかじめ確認しておき、初回授業の指示に従って速やかに準備を整えること。

実務経験の有無及び活用

備考
